



歴史の道土木遺産 萬世大路保存会

活動地：山形県米沢市相生町～福島県福島市上町

団体紹介

当保存会は、米沢市万世町全戸（約千戸）が加入しており、平成3年からの活動は32年を迎えました。

明治天皇により命名された「萬世大路」という明治の偉業の財産・宝（令和2年2月に山形の宝に登録）を里山から深山まで、後世に大切に継承していくことを目的に、万世コミュニティセンターを拠点に活動しています。



萬歳の松ちゃん

令和4年度活動内容

[萬世大路保存会ホームページへ](#) ⇒



“沢名の看板” と “散策マップ” で万世小学校校外学習ガイド

3年前から交付金の活用で樹木名札や標高看板を設置し、今年は沢名が分かるように6箇所を設置しました。これまで取り付けられた名札や看板はガイドと散策参加者から好評で、ルート中のひとつの目印にもなってきました。毎年恒例の地元万世小5年生の校外学習では、『森のたんけん手帳』と、本事業で印刷した散策マップを合わせて活用させていただきガイドさせていただきました。



万世小5年生 イタドリ(イタドリ)の笛に夢中



毎年繰り返しての作業です



秋の散策会の際に隧道前広場で一緒になった山形応用地質研究会が、萬世大路の地質について踏査のうえ報告書を作成して下さることになりました。

活動を行っての感想

- 平成4年から散策活動が続くのは、栗子山の大自然と明治期最先端土木の偉業が魅力であることを再認識しました。
- 植物や菌類、動物、地質や化石などの情報について令和5年度以降も収集し、米工専攻科生徒の学習を兼ねてホームページの掲載を進めて視聴者の満足度を上げていきます。